

2025年7月22日

一般社団法人  
リサーチ・アドミニストレータースキル認定機構  
事業運営会議 議長 遠藤 靖典 殿

外部評価委員会  
委員長 田原 敬一郎

2025年度実施の外部評価結果について（通知）

標記のことについて、貴機構の2024年1月から2025年3月までの事業を対象とした自己点検評価書を基に外部評価委員会として評価した結果を、別添のとおり通知します。

## 2024 年度事業の外部評価書

### (1) 評価結果

総合評価	URA スキル認定 機構の運営状況	URA 質保証制 度の実施状況	研修の実施状況	URA の認定の 実施状況
S	s	a	a	s

#### 【総合評価】

- S: 所期の計画を超えた取組が行われている  
A: 所期の計画と同等の取組が行われている  
B: 所期の計画以下の取組であるが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組もみられる  
C: 総じて所期の計画以下の取組である

#### 【各項目評価】

- s: 高く評価できる  
a: 妥当である  
b: やや不適切である  
c: 不適切である

### (2) 評価コメント

#### ・総括

URA の役割や業務について大学関係者間で引き続き関心が高まる中、関係団体との緊密な連携体制の維持・発展を行うとともに、適切に研修・認定事業を実施した。機構から JST への研修事業の移管という大きな分岐点において、財政シミュレーションを行う等、機構の持続可能な事業モデルを検討し、持続的・自律的な運営に向けた財源確保策と事業見直しを行った。これらより、所期の計画を超えた取組が行われていると評価する。

なお、認定申請者数は 2023 年度と比してやや減少した為、引き続き関係団体と協力し、広く申請者の確保に努めて貰いたい。その際、周知状況を適切にフォローアップするなどエビデンスに基づいて効果的な取組を行っていくことが期待される。また、文部科学省や科学技術振興機構とも引き続き連携し、情報共有を丁寧に行って貰いたい。

#### ・URA スキル認定機構の運営状況

法人としての透明性やガバナンスの機能を高める為の適切な組織を整備している。2023 年度までは関係 7 団体、2024 年度以降は関係 6 団体との協力体制を維持するとともに、Web による広報に加えて RA 協議会の年次大会でのブース設置や、576 機関へのチラシ配布など周知活動に努めた。また、研修・審査の実施に関し、受講者・申請者へのアンケート

調査を行い、その結果を制度改善に反映させた。2024年度の研修事業のJSTへの移管に伴い、認定事業の自立化を目指し、事業運営会議を中心に検討し認定審査料の値上げを行った。その結果、初年度収支のバランスがとれた。また、2026年以降の認定事業の安定運営に向けた努力を継続している。

以上より、URAスキル認定機構の運営状況は高く評価できる。

#### ・URA 質保証制度の実施状況

研修事業・認定事業ともに研修委員会、認定委員会に適切な専門家を任命し、アンケートの実施とフィードバック、審査業務の事前オリエンテーションの実施などを通じて「質保証」を適切に行っている。また、「質保証」に必要な評価や改善のための組織体制が維持されている。特に、認定審査における審査員構成の多様性確保、事前オリエンテーションの徹底による意識のすり合わせ等各審査プロセスでの公平性確保に向けた仕組みが整備されている。更に研修や認定審査終了後のアンケート結果や審査員の意見、不服申立て内容を反映し、柔軟に運用や書式の改訂も行っている点は好ましい。また、自己点検・評価委員会や外部評価委員会の位置付けのあり方など、補助事業終了後のより良い体制の構築に向けた検討が行われていることは評価できる。なお、教材や確認テストの改訂に当たり一部科目（C5 研究開発評価、J15 国際化推進）が未完了であったが、2024年度以降、JSTに作業の移管がなされた。

以上より、URA 質保証制度の実施状況は妥当であると評価する。

#### ・研修の実施状況

研修の実施に際し、科目群やシラバスに基づいた実施体制は整備され、対象者もURA業務の未経験者を含めて広く門戸を開いている。確認テストや教材の質の担保も、試験委員会による点検を通して実施されている。また、教材や確認テストの改訂に当たり2科目（C5 研究開発評価、J15 国際化推進）が未完了であったが、2024年度以降、JSTに作業が移管された。

以上より、研修の実施状況は妥当であると評価する。

#### ・URA の認定の実施状況

認定事業について、審査委員会、認定委員会及び不服審査委員会の各委員会が適切に機能している。審査に際して、審査員間の認識のすり合わせを行うためにオリエンテーションを実施するとともに、審査体制は5名で公平性を担保しつつ、審査件数に応じた審査委員会の複数設置と、認定委員会による審査結果のバランス確認を実施している。また、審査結果

に対する不服申立て制度が確立され、かつ不服審査委員会の独立性も担保されており、透明性が高いと考えられる。併せて、審査結果を元に申請要件や申請様式の見直しも実施しており、継続的な制度改善も行われている。

以上より、URA の認定の実施状況は高く評価できる。

外部評価委員会委員等名簿

氏名	所属	役職
磯谷 桂介	学校法人中部大学	理事（研究・国際・地域戦略担当） 先端研究センター教授
田中 純子	国立大学法人広島大学	理事・副学長／特任教授
○田原 敬一郎	公益財団法人未来工学研究所	主任研究員

（敬称略・五十音順）

※○は委員長

【陪席者】

氏名	担当	所属	役職
遠藤 靖典	事業運営会議議長	筑波大学	理事・副学長（研究担当）
正城 敏博	自己点検・評価委員会 委員長	大阪大学	教授・ディベロップメント オフィス副オフィス長
佐治 英郎	研修委員会委員長	京都大学	名誉教授
池田 雅夫	認定委員会委員長 （2023年度）	大阪大学	名誉教授
伊藤 正実	認定委員会委員長 （2024年度）	群馬大学	研究・産学連携推進機構 教授・コンソーシアム室長